**なかよしアニメ上映会のおすすめ人権ビデオ10選**

**A　人権ビデオ**　　　　例えば思いやりを持つことの大切さをアニメで伝えるとして、登場キャラクターが思いやりの大切さについて会話や言葉で説明するようなビデオ。思いやりについて分かりやすく説明してくれる一方、堅い面もある。

**B　物語ビデオ**　　　　例えば思いやりを持つことの大切さをアニメで伝えるとして、一つの話全体を通じて、その大切さが感じられるような「物語」である。堅くなく、かつ、思いやりの大切さついても分かりやすいストーリーになっている。

**C　じんわりビデオ**　　例えば思いやりを持つことの大切さをアニメで伝えるとして、メッセージ性が強くない。ただ、内容がほのぼのとしており、ほほえましい内容であるため、じんわりと人のあたたかみを感じられるビデオである。

1. 忍たま乱太郎のがんばるしかないさシリーズ　**A**（人権文化センター所蔵　DVD　30分）

概要：１巻10分で全３巻30分の作品。３巻に分かれているので、時間調整がつきます。

第１巻は、「よいと思うことをおこなう」です。３人組は、けがをして泣いている少女に救急処置を施したり、行列での割り込みをした人に注意して後ろに並んでもらったり、ごみ捨てのルールについて学びます。第２巻は、「あたたかい心でしんせつにする」です。３人組は、お買い物の途中、老女や少年と出会い、あたたかい心遣いや親切な心を学びます。第３巻は、「きまりを守って協力しあう」です。３人組は、食事当番の時になかなか給食がつくれずに困ってしまいますが、おなじクラスメイトの温かい協力でおいしいカレーが完成します。

1. ねずみくんのきもち　**A**（人権推進課所蔵　NO.302　DVD　12分）

概要：ねずみくんは公園でねずちゃんと待ち合わせをしていますが、そこへネコ君が来ていやがらせをする。ねずみくんは、自分が体が小さくて気が弱くて失敗ばかりだからネコくんにいじめられるのではないかとフクロウさんに相談した。するとフクロウさんは、ネコ君には相手を思いやる心が必要だと言う。そして一人だけが思うがままには生きてはいけないのだからお互いに認め合わなければいけないことを話す。それを聞いたねずみ君はやってきたネコ君に対してある行動をとるが。。。相手を思いやる心を持つことの大切さを丁寧に説明してくれるビデオになっています。

1. みんないちばん　**A**（人権推進課所管　NO．303　DVD　13分）

概要：どんぐり君は森の仲間たちと遊び始める。どんぐり君も松ぼっくり君も球根くんもたけ　　のこ君も一番のものがある。けれどきのこちゃんは一番得意なものがなくて悲しくて仲間から抜け出して帰る。そこへ仲間たちがやってきてキノコちゃんに話す。チョウチョが雨に濡れないようにしているからキノコちゃんは一番優しいと。そして歌う。「いいとこ見つけた、あの子もこの子も　みんなきらきらひかってる。みんないちばん。。。」と。友だちのいいところを認め、自分のいいところを見つけることの大切さをわかりやすく教えてくれるビデオです。

1. 金色の足あと　**B**（中央公民館所蔵NO.108　VHS　28分）

概要：ある日正太郎の家に村の人が山で捕まえた子狐を持ってやってくる。子狐を小屋につないでいたが餌を食べない子狐。ひっそりとやってきては子狐に乳をやる親狐。そんな親子のキツネの姿を見ていて情を抱くようになった正太郎はやがて子狐を逃がすことを決心する。しかし一歩遅れで、父親が子狐を山を越えた安田牧場の人に譲り渡してしまった。子狐を取り返そうと、冬の夜の雪山を越えて安田牧場に行こうとする正太郎だったが。。。親子の愛情・絆を強く感じ、その感受性を養うとともに、命の大切さや人を思いやる心を育む作品です。

1. こぎつねのおくりもの　**B**（中央公民館所蔵NO.113　VHS　30分）

概要：峠に住む３匹の子狐はお父さん狐に教わって化ける特訓をしていた。そして子狐たちは地蔵に化けていたところ、おばあさんがやってきて、地蔵の顔が死んだ3人の息子の顔に似ていると話し、それからお団子をあげるようになった。月日はたち、ある日おばあさんがお地蔵さんのところで息子たちの大切な写真を落として帰るが、ひょんなことから子狐たちはその写真を破ってしまい、おばあさんを悲しませることになる。そのことに深く反省した子狐たちはある行動に出るが。。。親が子を思う深い愛情を認識するとともに、人を思いやる心の大切さを学ぶことのできる作品です。

1. カワウソ親子の冒険の内容　**B**（中央公民館所蔵　NO.372　DVD　18分）

概要：とある川の上流に住んでいたたくさんのカワウソたち。その中に２匹の親子カワウソがいた。何も知らない子カワウソにいろいろ教える母親カワウソだったが、ある日子カワウソが罠にかかりそうになり、身代わりになった母カワウソ、そこへ襲いかかる大フクロウ。住処を変えるため島に渡ったが今度は猟犬に追われ川の上流に帰ってきた２匹のカワウソだったが、今度は猟師に銃で狙われることに。。。２匹のカワウソ親子の冒険から、親が子を思う強い愛情を感じることで、その感受性を育むとともに、命の大切さを学ぶことができます。

1. ごめんね、ミーちゃん　**B**（中央公民館所蔵NO.375　DVD　13分）

概要：家で子猫と無邪気に遊んでいた少年だいき。無理やり子猫を公園へ連れて行くがそこからの帰り道、子猫を引っ張っているとバイクにはねとばされ子猫は意識を失ってしまう。その夜だいきが寝ているとミーちゃんの鳴き声がして目が覚めるだいき。そして逃げるミーちゃんを追いかけるとそこには猫たちが集まって会議をしているところに出くわすが。。。命の大切さの心を育むとともに、親が子を思う強い愛情の認識を深めることのできる作品です。

1. アニメハチ公物語　**B**（中央公民館所蔵NO.804　DVD　17分）

概要：犬が大好きな博士は秋田犬を引き取り可愛がって育てた。ハチと名付けられた秋田犬はみんなに可愛がられて育った。大好きな博士を毎朝駅まで見送り、毎夕駅までで迎えに来ていた。そんなある日突然博士は倒れて亡くなってしまう。そのことが分からないハチは博士を迎えに毎日駅まで迎えに行っていた。家が引き払われ、また、飼い主が変わることになっても、ハチは博士を迎えに駅まで行って待ち続ける毎日が続いた。そして博士が亡くなって10年が過ぎたが。。。

人が人を思いやることから育まれる愛情の深さや大切さを学ぶとともに、命の大切さの認識を深めることのできる作品です。

1. まんが日本昔ばなし第４巻　分福茶釜　**C**（中央公民館所蔵NO.123　VHS　10分）

概要：人がめったに来ない山寺の和尚は茶でも入れて村人を寺に集めようと茶釜を買いに町まで来た。道具屋で茶釜を買ったが、それはタヌキの茶釜だった。寺にずっとといていいと言われたタヌキは喜んで、いろいろな芸を人に見せますと言い、寺に集まった人々に披露した。人々は喜び、笑い、笑う門には福来る、福を分けてくれるということで、分福茶釜と呼ぶようになった。笑顔、楽しさ、幸せといったものをじんわりと感じさせてくれる作品です。

1. くまのおいしゃさん　**C**（中央公民館所管　NO.374　DVD）　（23分）

概要：クマのお医者さんは森じゅうの動物のみんなの病気やケガを治すために、日曜日や真夜中だって、毎日休むことなくどこにでも出かけていき大忙し。そのため子どものサベアとエベアは、お父さんとお風呂に入りたいのにいつもふたりで入らなければなりません。ある日きつねのトトが自転車でけがをしてしまったため、自転車は危ないから買ってもらえないとあきらめかけていたサベアとエベアに空から飛び出たような青い自転車をプレゼントしました。自転車に乗れるようになったサベアは、ある日薬を持って行くのを忘れたお父さんに届けるために、遠くに住むくまのおばあさんのところへ自転車で出かけますが。。。動物どうしの思いやりをベースとした絆や親と子の豊かな愛情をほのぼのと感じさせてくれる作品です。